

## よさや可能性を高め伸ばす学級経営

10月に入り、朝夕が涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。「〇〇の秋」とよく言われますが、秋といえば何をイメージしますか。「食欲の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」など、いろいろな言葉が思い出されます。どれもそれぞれの思いがあるかと思います。10月の読書月間（週間）にあわせ「読書の秋」を思い浮かべる人も多いと思います。いろいろな秋を満喫してほしいと思います。

さて、2学期にも様々な学校行事が計画され、実施されていることだと思います。是非、学校行事の意義をしっかりと確認し、共通認識のもと全職員で学校行事を行ってください。また、学校行事の取り組みは、学級経営も充実させていきます。学級経営が充実している学級では、児童生徒主体による学校行事の取り組みが見られます。今、まさに学級生活が充実するときでもあります。

児童生徒は、家庭で過ごす時間の次に、学校でほとんどの時間を過ごします。また、学校で過ごすということは、ほとんどが学級で過ごすということです。「学校に行く」ということは、「学級に行く」ということだと思います。

その学級が児童生徒にとって、どのような場所なのか考えて行く必要があります。安心できる場なのか、それとも不安を抱える場になっていないか等、教師はしっかりと見なければなりません。児童生徒にとって、安心できる場であり、よさや可能性を高め伸ばす場が学級であります。

沖縄県の「学力向上推進プロジェクト」の方策5にもあるように、支持的風土をつくる学級経営、学びに向かう集団づくりを進める学級経営の充実を図っていくことが大切になります。

愛媛大学の白石賢教授は、著書「学級経営の教科書」のなかで、年間を見通す学級経営の基本理念として次の三領域をあげています。

- ①必然的領域：守ることを守り、互いを尊重し、あたたかく居心地をよくする。
- ②計画的領域：学級のきまりごとを習慣化し、「できること」を増やしていく。
- ③偶発的領域：教師の手を超えて、子どもの思いやり・創造性を発揮する。

是非、子ども達が成長する場としての学級づくりに取り組んでほしいと思います。



### 全国調査の結果を日々の授業に活かそう！

全国学力・学習状況調査の結果が出て、一か月余りがたちました。各学校においては、結果を分析し、課題を全職員で共有し、課題の対応策について協議を行い、指導計画の見直しや授業実践につなげていることと思います。まだ、取り組まれていない学校においては、是非、全職員で確認し、共通実践を行ってほしいと思います。

大切なのは、全職員で確認したことは、全職員で実践し、継続していくことです。多忙な学校現場での実践ですので、まずは、全職員で取り組めるもの、どの教科にもあてはまることから始めてもいいかと思えます。中学校では、教科の特性もありますので、その教科に合わせた取組もでてくると思います。しかし、それでも、キーワードは、決めたことは、「みんなで」、「徹底して」、「継続していく」ことです。

石垣市では、「授業のスタンダード」を推奨しています。学習規律や授業を行っていくうえでの基本的なことです。各学校において、学校の実態に合わせ工夫しながら、取組をよろしくお願いします。

### 校内研究のテーマは？

2学期に入り、研究テーマのもと研究授業が多くなってきました。本課の指導主事も学校からの要請に応じて島内を走り回っています。

ところで、あなたの学校の校内研究のテーマは、何ですか？ 全員が答えられますか？ まさか、「研究授業しないから覚えていない。」という先生はいませんか。

研究授業に当たってなくても、テーマを意識した日々の授業や教育活動を実践されていることと思います。是非、学校課題の解決のための充実した校内研究になるようお願いします。

# 市教委主催研修会の様子

## 学校教育支援員研修会① (8/7)

各学校に派遣している学校教育支援員を対象とした研修会を開催しました。

本市の学力の現状と取り組みについて学び、校区内の小中に分かれてのグループ協議を行いました。

各学校での支援の仕方を共有し、支援員同士の横の連携も深めることができました。



## 幼小連携講演会 (8/18)

学びの基礎力育成支援事業の一環として、講演会を行いました。

学びのアドバイザーの迎里裕美子先生による事業の取り組み報告があり、沖縄女子短期大学の平田美紀教授による「育ちと学びをつなぐ接続期カリキュラム」と題しての講演も拝聴できました。



## 生徒指導主任研修会 (8/28)

各学校の生徒指導主任を対象に、生徒指導上の諸問題とその対応策について共有しました。

県教育庁義務教育課の喜久川洋指導主事を講師に招いて、「いじめ問題について」と題し、実例を交えて、お話し頂きました。いじめへの対応について考える機会となったと思います。



## 初任者研修 (8/9)

初任研は、図書館での実務体験です。

図書館業務を学び、体験しました。調べ学習、読み聞かせ、本の修理と体験し、最後は、全員がブックトークを行いました。きっと、学校でも行っていることだと思います。



## 教職10年経験者研修 (8/23~25)

10年研は、1日目は情報教育について学び、2,3日目は、各企業での社会体験を行いました。

社会体験では、違う自分に出会い、新たな発見もあったことでしょう。しっかりと学んだことを児童生徒へ伝えて下さい。



## 養護教諭研修会 (8/29)

年に一回の養護教諭研修会が開催されました。

白保小学校の宇根香織養護教諭が昨年度の市立教育研究所で研究したことを報告しました。

後半では、(株)ゆにばいしがきの津嘉山航さんに「各機関との連携の仕方」についての講話をして頂きました。



## 石垣市立教育研究所 南和秀 所長就任・10月から3名の研究員が入所

教育研究所は、仲田森和所長が竹富町教育委員会教育長に就任したため、その後任として、南和秀所長が8月1日より配置されました。

10月2日からは、3名の研究員が、教育研究所に入所して、3月まで6ヶ月間の研究を行っていきます。

### 第36期研究員

- ◆ みやとり幼稚園 教諭 崎田 悠
- ◆ 新川小学校 教諭 田本彩花
- ◆ 石垣第二中学校 教諭 仲盛賢也

